

地質観光情報の開発と地域振興への活用の試みー茨城ジオパークの設立を目指してー

Attempt to development of geological information for sightseeing and application to community development

齊藤 千帆^{1*}, 小畑 大樹¹, 畑中 雄太¹, 細井 淳¹, 伊藤 太久¹, 松原 典孝¹

Chiho Saito^{1*}, taiki kobatake¹, Yuta Hatanaka¹, Jun Hosoi¹, Taku Ito¹, Noritaka Matsubara¹

¹茨城大学理学部

¹Department of Sciences, Ibaraki Univ.

現在日本では、個人あるいは少人数がテーマを持って現地を訪れるというかたちの観光が盛んになっている。グリーンツーリズムやエコツーリズム、ヘリテージツーリズムなどの地域に根ざした観光は、地域の活性化に加え、生涯学習の場としても有用である。旅行者は、その地域特有のことやものを体験し、学び、交流することを楽しむ。一方で受け入れる住民側は、地域の資源を再発見しそれを磨くとともに、訪れた人との交流を楽しむ。このような観光の形が、だんだんと主流になりつつある。このような状況において、「ジオパーク」は新しい観光を実現することが可能であり、画期的である。ジオパークとは、科学的に重要な地質遺産を見どころとした自然の公園であり、地域の文化や、教育、観光などに関連して地域の活性化を図るという点で、他の国立公園とは異なっている。2009年8月、洞爺湖有珠山・糸魚川・島原半島の3地域が、世界ジオパークネットワークに認定された。これに伴い、現在日本ジオパークに認定されている地域を含め、日本各地においてますます世界ジオパークへの認定を目指した活動が活発になると考えられる。

しかしながら、地質的・地理的な資源は、文化的資源に比べて難解で理解しがたいものである。ジオパークを一般の人に受け入れてもらうためには、地質情報を、より理解しやすく、より興味を惹かれるものに変換しなくてはならない。さらに、ジオパークを支えていく主体は地域住民である。そのため、今まで全く地学に触れたことのない人々にも、その地域の地質の重要性を理解し、親しみを持ってもらう必要がある。

茨城大学の地質学を専攻する学生からなる「地質情報活用プロジェクト」は、茨城県内の10地域において、地質情報を分かりやすい観光情報としてまとめた、ジオツーリズムのモデルコース：「地質観光まっぷ」を作成した。ここでは、地質学的見所とその見所を結ぶルートを設定し、各見所の特徴や地域の成り立ちを、極力専門用語の使用を控え、イラストを多用することで分かりやすくまとめている。

「地質観光マップ」は茨城県内の「筑波山」、「霞ヶ浦」、「大子袋田」、「水戸・千波湖」、「五浦海岸」、「平磯海岸」、「八溝山」、「日立」、「北茨城・常磐炭田」、「大洗海岸」の10箇所について作成した。これらの地域はジオサイトとして有用な資源に恵まれているのみならず、従来観光地として親しまれており、モデルコースとして最適である。さらに「地質観光まっぷ」にはユビキタス技術も取り入れ、紙面上に記載しきれない情報をQRコードから携帯電話にて読み込めるようにした。携帯サイト上には、より詳しい解説や、その地域にまつわる伝説、特産品にまつわるコラムなどが載せてある。これにより、ガイドがいなくても旅行者が独自に「地質観光まっぷ」を用いて、楽しくツアーを行うことができるようにした。

さらに、「地質観光まっぷ」作成地域において、プロジェクトメンバーが現地で一般の方々を対象として、案内・解説を行うジオツアーを実施している。これまでに2008年に千波湖で1回、

2009年には千波湖に加え、袋田の滝、平磯海岸、五浦海岸で計5回行い、合計で200名近くの一般の方を案内した。

今回の試みで、茨城県北部の地質情報を観光情報に変換し、一般の人々に理解し、楽しんでもらうことに成功した。このことは、ジオパーク設立において重要な、地域住民のジオパークへの積極的な関わりに向けた一歩になると考えられる。また、新たに作成した「茨城県北ジオポイントマップ」では、「地質観光マップ」を作成した地域はもちろん、未作成の地域のジオポイント（地質の見どころ）も載せてある。この「地質観光マップ」や「茨城県北ジオポイントマップ」、それらを活かしたジオツアーを通して、地域住民にその地域の地質遺産やその魅力を再発見してもらうきっかけになり、今後地学を利用した地域振興に協力してくれることが期待できる。

なお、本プロジェクトの推進に当たって、株式会社サイボックスには技術面で全面的に協力いただいた。また、茨城大学社会連携事業会からは資金の援助をいただいた。

キーワード:ジオパーク,ジオツアー,茨城,地域振興,ジオツーリズム

Keywords: Geopark, Geo tour, Ibaraki, community development, Geo tourism